

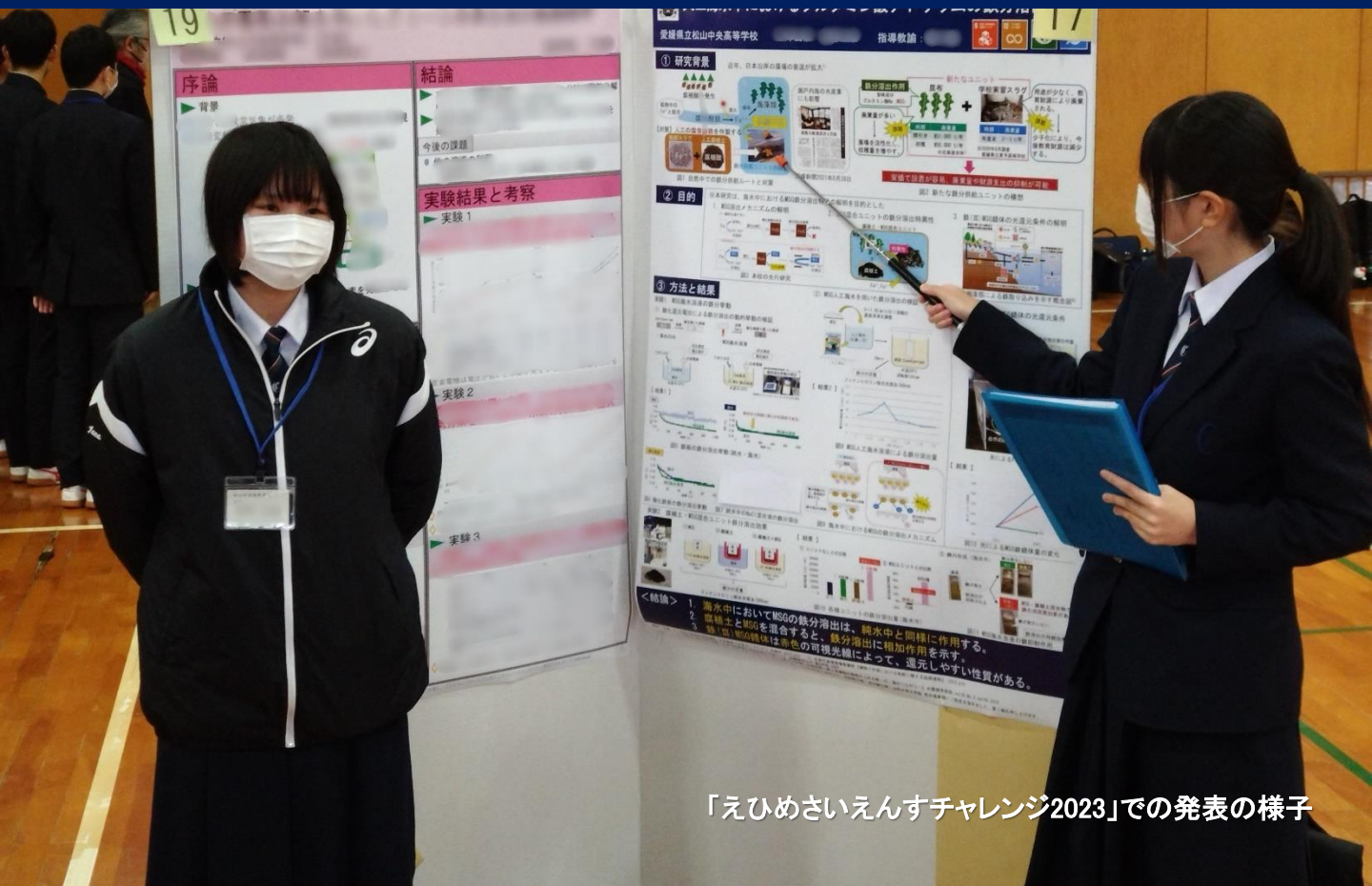


愛媛県立松山中央高等学校

## MSG班

愛媛県松山市井門町 1 2 2 0

# 新たな鉄分供給ユニットで守る沿岸の未来 ～ブルーカーボン推進と地域活性化～



「えひめさいえんすチャレンジ2023」での発表の様子

2050年のカーボンニュートラル達成に向け、「ブルーカーボン」が注目されています。しかし、日本沿岸部では藻場の衰退が深刻で、愛媛県でもその影響でカタクチイワシの漁獲量が減少しています。この要因の一つとして、森林衰退による「海の鉄分不足」が挙げられています。

そこで、私たちは廃棄される昆布と工業高校の製鉄実習で生じたスラグを再利用し、鉄分を供給するユニットを開発することに取り組みました。この技術の実現により、藻場の再生を安価かつ簡易に実現し、地域の環境保全と産業活性化への貢献を目指しています。